

前身:ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- **発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。**
(①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧連帯)

- ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
 - 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
 - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④、⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。
- ✓ また、15年間で国際的な環境も大きく変化し、新たな課題が浮上。
 - ・ 環境問題や気候変動の深刻化、国内や国際間の格差拡大、民間企業やNGOの役割の拡大など。

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。(2030アジェンダの採択)
- **先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標を設定。**(詳細:次頁。17の目標の下に、更に細分化された169のターゲットあり。)
- 「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し(=人間の安全保障の理念を反映)、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組む。
- 全ての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者等)の役割を重視。

持続可能な開発目標(SDGs)の詳細



ロゴ: 国連広報センター作成

日本自身の課題に関係が深い目標の例 ⇒ 実施には、多くの国内省庁が関係。

- 成長・雇用
- クリーンエネルギー
- イノベーション
- 循環型社会(3R: Reduce Reuse Recycle 等)
- 温暖化対策
- 生物多様性の保全
- 女性の活躍
- 児童虐待の撲滅
- 国際協力 等

SDGsの17の目標

目標 1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標 2 (飢餓)	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標 3 (保健)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標 4 (教育)	すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
目標 5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女子のエンパワーメントを行う。
目標 6 (水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標 7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標 8 (経済成長と雇用)	包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク(適切な雇用)を促進する。
目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション)	レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る。
目標10 (不平等)	各国内および各国間の不平等を是正する。
目標11 (持続可能な都市)	包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13 (気候変動)	気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する。
目標15 (陸上資源)	陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る。
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段の強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

持続可能な開発目標(SDGs)実施指針の概要

● **ビジョン**:「持続可能で強靱、そして誰一人残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」

● **実施原則**: ①普遍性、②包摂性、③参画型、④統合性、⑤透明性と説明責任

● **フォローアップ**: 2019年までを目処に最初のフォローアップを実施。

【8つの優先課題と具体的施策】

①あらゆる人々の活躍の推進

■一億総活躍社会の実現 ■女性活躍の推進 ■子供の貧困対策 ■障害者の自立と社会参加支援 ■教育の充実

③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

■有望市場の創出 ■農山漁村の振興 ■生産性の向上 ■科学技術イノベーション ■持続可能な都市

⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会

■省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進 ■気候変動対策 ■循環型社会の構築

⑦平和と安全・安心社会の実現

■組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進 ■平和構築・復興支援 ■法の支配の促進

②健康・長寿の達成

■薬剤耐性対策 ■途上国の感染症対策や保健システム強化、公衆衛生危機への対応 ■アジアの高齢化への対応

④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

■国土強靱化の推進・防災 ■水資源開発・水循環の取組 ■質の高いインフラ投資の推進

⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

■環境汚染への対応 ■生物多様性の保全 ■持続可能な森林・海洋・陸上資源

⑧SDGs実施推進の体制と手段

■マルチステークホルダーパートナーシップ ■国際協力におけるSDGsの主流化 ■途上国のSDGs実施体制支援

地方創生における自治体SDGs推進の意義

地方創生の目標

人口減少と地域経済縮小の克服 / まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域の活性化が実現

相乗効果：政策推進の全体最適化・地域課題解決の加速化

「経済」、「社会」、「環境」の三側面を統合する施策推進

コミュニティ再生

少子高齢化

教育

雇用対策

人材活用

人口減少

環境対策

防災

自治体SDGsの推進

◆地域課題の見える化

◆体制づくり

- ✓自治体内部の執行体制の整備
- ✓ステークホルダーとの更なる連携

◆自治体の各種計画の策定・改定

- ✓計画にSDGsの要素を反映し、進捗を管理するガバナンス手法を確立

◆課題に応じた地域間の広域連携

地方創生成功モデルの国内における水平展開・国外への情報発信

持続可能な企業になるために何をすればよいか

これからの企業に必要なこととは？

企業はこれまで、消費者のため、地域社会のため、そして生活環境の維持のために求められる製品やサービスを提供してきました。しかし、昨今の少子高齢化による人材不足や消費者ニーズの多様化等により、売上拡大や事業承継において課題を抱える企業が多いのではないのでしょうか。企業が将来に渡って継続し、より発展していくために必要となるのが、長期的な視点で社会のニーズを重視した経営と事業展開です。そこで、今、ビジネスの世界では、経営リスクを回避するとともに、新たなビジネスチャンスを獲得して持続可能性を追求するためのツールとして、**SDGs (エスディージーエス) の活用**が注目を集めています。

企業経営の道しるべとなる SDGs

SDGs とは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で 2030 年を目指して明るい未来を作るための 17 のゴールと 169 のターゲットで構成されています。

持続可能な開発目標 (SDGs)

- ◇2015 年 9 月、ニューヨーク国連本部において、193 の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。
- ◇気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指しています。
- ◇先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標です。



SDGs の根幹にある「持続可能な開発」とは、「将来世代のニーズを損なわずに、現代世代のニーズを満たす開発」のことをいいます。SDGs にはあらゆる分野における社会の課題と長期的な視点でのニーズがつまっているということです。

2017 年には、GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) が ESG 投資に 1 兆円規模の投入を決めました。これは、環境問題や社会問題を視点として経営に取り入れることにより、将来的なリスクを軽減できる、課題解決のために生まれる新規市場に参入できる、といった評価が市場においてなされているからです。

■ ESG 投資
投資するために企業の価値を測る材料として、非財務情報である環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の要素を考慮する投資のこと。

市場は今、SDGs の時代に

SDGs は国連で採択されたものですが、すでに**ビジネスの世界での「共通言語」**になりつつあります。そして、これらのゴールを達成するために、個別の企業においても取組が広がってきています。特に、世界を相手に事業を展開する大企業では、**バリューチェーン全体の見直し**を始めており、関連する**サプライヤーにも影響が広がる**と考えられます。

「SDGs って大事なことだと思うけど、私の会社と関係あるの？」

SDGs の普及とともに、市場のニーズ、そして取引先からのニーズとして、SDGs への対応が求められるようになってきています。実際、**投資の条件**として、収益だけでなく、SDGs に取り組んでいるかどうかも見られる時代になってきているのです。



SDGs の活用によって広がる可能性

企業イメージの向上

SDGs への取組をアピールすることで、多くの人に「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より、**多様性に富んだ人材確保**にもつながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらします。

社会の課題への対応

SDGs には社会が抱えている様々な課題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。これらの課題への対応は、**経営リスクの回避**とともに**社会への貢献**や**地域での信頼獲得**にもつながります。

生存戦略になる

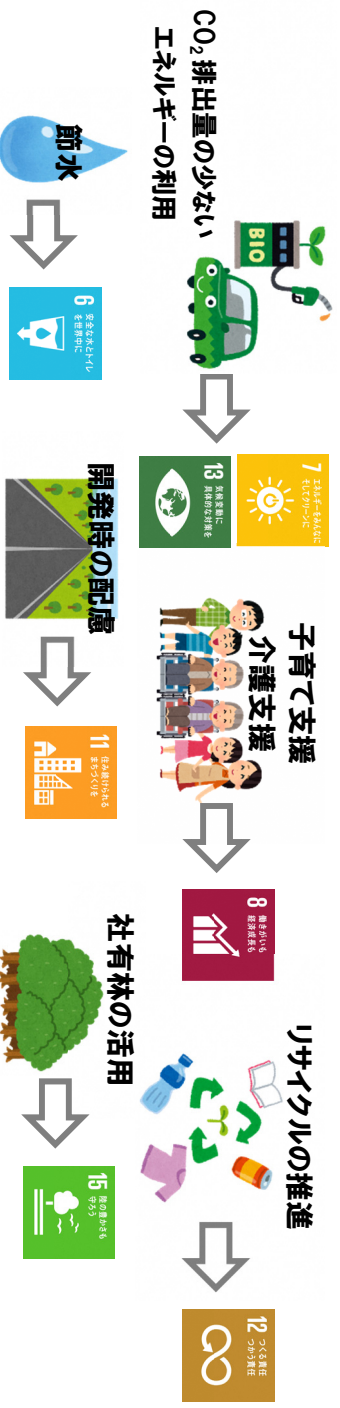
取引先のニーズの変化や新興国の台頭など、企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGs への対応がビジネスにおける**取引条件**になる可能性もあり、**持続可能な経営を行う戦略**として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかった**イノベーション**や**パートナーシップを生む**ことにつながります。

企業活動とSDGs のつながり

SDGs が関係するのはグローバルな取組だけではなくありません。企業が行う事業そのものはもちろん、普段から取り組んでいる節電や節水、社員の福利厚生など、企業が行う行動すべてがSDGs とつながります。



SDGs を活用して持続可能な企業を目指そう！

SDGs のゴール・ターゲットを見ると、自社の取組とのつながりに気づきます。そこから、自社の強みは何であるかを改めて見直したり、SDGs に示された課題を解決できる**自社の潜在能力に気づく**ことができます。

SDGs って気になるけど・・・

具体的に何をすればいいの？ 大変じゃないかしら？

持続可能な会社にするためには、今の社会のニーズだけでなく将来のニーズも満たすような事業展開が必要です。SDGs を掲げた企業経営によって、**持続可能な企業へと発展**していきましょう。

「ジャパンSDGsアワード」

SDGsの達成に向けて、優れた取組を行う企業・団体等を表彰するための「ジャパンSDGsアワード」の創設 (SDGs推進本部第3回会合で決定)。

- **表彰の対象**: SDGs達成に資する優れた国内外の取組を行っている, 日本に拠点のある企業・団体(企業, NPO・NGO, 地方自治体, 学術機関, 各種団体等)
- **表彰の内容**: **優れた1案件を, 総理大臣によるSDGs推進本部長表彰**, その他の4案件を, 官房長官・外務大臣による副本部長表彰とする。その他, 特筆すべき功績があったと認められる企業・団体等について, 特別賞を付与する場合がある。

第2回「ジャパンSDGsアワード」の概要

247の企業・団体が応募。全関係省庁参加のもと、「SDGs円卓会議」の構成員による「選考委員会」を開催。平成30年12月21日に第2回「ジャパンSDGsアワード」授賞式を開催。

【SDGs推進本部長(内閣総理大臣)表彰】

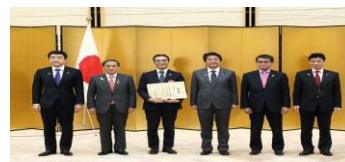
- ・ 株式会社日本フードエコロジーセンター〔企業〕

【SDGs推進副本部長(内閣官房長官)表彰】

- ・ 日本生活協同組合連合会〔生協〕
- ・ 鹿児島県大崎町〔自治体〕
- ・ 一般社団法人ラ・バルカグループ〔その他〕

【SDGs推進副本部長(外務大臣)表彰】

- ・ 株式会社LIXIL〔企業〕
- ・ 特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS
〔NPO/NGO〕
- ・ 会宝産業株式会社〔企業〕



第2回「ジャパンSDGsアワード」授賞式

【特別賞「SDGsパートナーシップ賞」】

- ・ 株式会社虎屋本舗〔企業〕
- ・ 株式会社大川印刷〔企業〕
- ・ SUNSHOW GROUP〔企業〕
- ・ 株式会社滋賀銀行〔企業〕
- ・ 山陽女子中学校・高等学校地歴部〔教育機関〕
- ・ 株式会社ヤクルト本社〔企業〕
- ・ 産科婦人科館出張 佐藤病院〔その他〕
- ・ 株式会社フジテレビジョン〔企業〕

第2回ジャパンSDGsアワード受賞団体

本部長（総理大臣）賞

株式会社日本フードエコロジーセンター

副本部長賞 （内閣官房長官）

- 日本生活協同組合連合会
- 鹿児島県大崎町
- 一般社団法人ラ・バルカグループ

副本部長賞 （外務大臣）

- 株式会社LIXIL
- 特定非営利活動法人エイズ孤児支援
NGO・PLAS
- 会宝産業株式会社

SDGsパートナーシップ賞（特別賞）

- 株式会社虎屋本舗
- 株式会社大川印刷
- SUNSHOW GROUP
（三承工業株式会社・N.SUNSHOW株式会社）
- 株式会社滋賀銀行
- 山陽女子中学校・高等学校地歴部
- 株式会社ヤクルト本社
- 産科婦人科館出張 佐藤病院
- 株式会社フジテレビジョン

<取組概要>

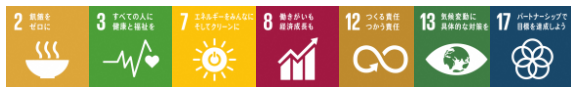
- ・ **「食品ロスに新たな価値を」**という企業理念の下、食品廃棄物を有効活用するリキッド発酵飼料（リキッド・エコフィード）を産学官連携で開発し、**廃棄物処理業と飼料製造業の2つの側面を持つ新たなビジネスモデルを実現**。
- ・ 国内で生じる食品残さから良質な飼料を製造し、輸入飼料の代替とすることで、飼料自給率の向上と共に、**穀物相場に影響を受けにくい畜産経営を支援し、食料安全保障に貢献**。
- ・ **同社の飼料を一定割合以上用いて飼養された豚肉をブランド化**し、養豚事業者や製造業、小売り、消費者を巻き込んだ**継続性のある「リサイクルループ（循環型社会）」を構築**。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	食品廃棄物を有効活用するリキッド飼料化事業は国内外における食品ロス対策のロールモデルとなり得る。
包摂性	社内において障がい者、高齢者人材雇用等幅広い人材の参画に努めている。
参画型	多くのステークホルダーと協働して継続性のある「リサイクルループ」を構築している。
統合性	廃棄物処理業と飼料製造業の両面をもつことから、小売や外食といった他業種をはじめ多様なステークホルダーの結節点となっている。
透明性と説明責任	行政や排出事業者の視察に積極的に応じるほか、飼料の品質は定期的に第三者機関で検査を行い、開示している。

貢献する目標（SDGs）



<取組概要>

- 生協の全国連合会として、2018年に全国の生協がSDGs達成に大きく貢献することを社会的にコミットした「**コープSDGs行動宣言**」を策定・採択。行動宣言の採択にあわせ、「日本生協連SDGs取組方針2018」を取りまとめ、様々な取組を実施。
- 具体的には、地域、環境、社会、人々に配慮した「**エシカル消費**」に対応した**商品を開発・供給**するとともに、こうした商品の利用を組合員に促す活動を全国の生協を通じ行っている。
- その他、**再生可能エネルギーの活用**や**ユニセフを通じた子ども支援**、**被災地支援**も積極的に実施。

第68回日本生協連通常総会・特別アピール

コープSDGs行動宣言

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。

私たちは、在籍の21世紀生活者(1997年総会決定)のもと、取組むの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取組を進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものとは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向け取組むことを、SDGs行動宣言としてまとめました。私たちは、以下の2つの取組を進めつつ、世界のみんなとともにSDGsを実現していきます。

持続可能な生産と消費のために、商品づくりの力を発揮していきます
私たちは、「17の目標」は「17の項目」の達成を目指す、持続可能な社会づくりのめざすもの。協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向け取組むことを、SDGs行動宣言としてまとめました。私たちは、以下の2つの取組を進めつつ、世界のみんなとともにSDGsを実現していきます。

地域活性化対策を推進し、再生可能エネルギーを採択・普及します
私たちは、地域の持続可能な発展を目指す取組を積極的に推進し、地域活性化対策の推進に貢献します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。

世界から課題や問題をなくし、子どもを支援する活動を推進します
私たちは、世界から課題や問題をなくし、子どもを支援する活動を推進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。

被災地支援と世界平和の実現をめざす活動を推進します
私たちは、被災地支援と世界平和の実現をめざす活動を推進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。

誰もが安心してくらし続けられる持続可能な社会づくりに貢献します
私たちは、誰もが安心してくらし続けられる持続可能な社会づくりに貢献します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。

ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりに貢献します
私たちは、ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりに貢献します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。再生可能エネルギーの導入を推進し、再生可能エネルギーの普及を促進します。

SDGs実施指針における実施原則 (アワード評価基準)

普遍性	全国連合会として、全国規模の学習会や自組織の取組方針を策定するなど、業界団体の取組の模範となり得る。
包摂性	被災地支援、子ども支援、高齢者介護等、様々な立場に立つ人々の支援を実施。
参画型	エシカル消費に関する取組を取引先や工場、消費者である組合員まで、サプライチェーン全体を巻き込み推進している。組合員の大半を占める女性の運営への参画も積極的に推進。
統合性	リサイクルの取組も含め、エシカル消費の推進が、様々な課題の統合的な解決につながっている。
透明性と説明責任	事業・活動の方針は全国の生協からの意見を取り入れた上で策定しているほか、PDCAサイクルで進捗管理を行っている。

貢献する目標 (SDGs)



<取組概要>

- 「**混ぜればゴミ、分ければ資源**」の考え方を地域住民に浸透させるとともに、27品目分別の行政・企業・住民協働型のリサイクル事業を実施。**リサイクル率80%を達成し、平成18年以降、11年連続で資源リサイクル率日本一**を記録。リサイクル事業は「大崎システム」として国際展開している。
- ごみ分別によるコミュニケーションを通じた高齢者・定住外国人との多文化共生コミュニティ形成、**リサイクルの概念を活用した環境・グローバル人材育成事業を実施。**



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	大崎システムの国際展開は、途上国への環境・経済面に裨益し、自治体の国際化事業のロールモデルとなり得る。
包摂性	高齢者や定住外国人も含むあらゆる地域住民へ自治会の活動を通じて分別ルールを理解促進を図っている。
参画型	行政、企業、住民が協働で分別・リサイクルに取り組むことによりリサイクル率日本一を達成。
統合性	経済、社会、環境の3分野が相互に連動し、廃棄物管理分野における統合的なアプローチとなっている。
透明性と説明責任	リサイクル事業実施に関する住民からの声は自治会を通じて役場に反映されるなど、行政・企業・住民での合意形成を重視。

貢献する目標（SDGs）



<取組概要>



- 障がい者や引きこもり、障がいを持つ子供の母親など未経験者でも積極的に働けることを重視し、**多様な人々が働けるチョコレートブランド「久遠チョコレート」を全国展開**。国内各地の食材を活用した商品開発を進め、地域の特産品開発にも貢献している。
- 商品開発においては、作業工程の単純化を図るとともに、**障がい者等多様な従業員に十分な対価を還元**するため、ショコラティエの監修や大手デパートとの連携等、**商品付加価値の創出や販路拡大、原料コスト削減等を徹底して進めている**。
- 全国で障がい者等雇用に取り組む団体等を支援するため、**障がい者ショコラティエの育成、研修や店舗開設・運営のノウハウの移転をフランチャイズ方式で展開**。

SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	障がい者等雇用と地域活性化を同時に解決するロールモデルとなり得る。
包摂性	障がい者や障がいを持つ子供の母親や、就労未経験者が積極的に働けることを重視。
参画型	有名ショコラティエや大手デパート、地元メディアなど多様なステークホルダーと連携。
統合性	売上や収益性など経済的な価値を高めながら福祉的課題の解決を図っている。
透明性と説明責任	売上げや障がい者雇用者数を逐次ホームページで公開しているほか、外部評価機関からの事業評価を受けている。

貢献する目標（SDGs）





貢献する目標 (SDGs)



<取組概要>

- トイレの未整備によりもたらされる社会・衛生環境問題の解決を目指し、**安価で高品質なトイレを途上国に提供**。より持続的に、より多くの人々へ届けるため、「現地に根差したソーシャルビジネス」というアプローチを採択。
- トイレの設置にあたっては、インフラ整備・衛生意識改革も不可欠のため、**国際機関やNGOとパートナーシップを組み、アドボカシー活動を行っている**。
- 同社のトイレ1台購入につき、簡易式トイレ1台を途上国へ寄附する「**みんなにトイレプロジェクト**」を実施し、ビジネスを通じた**課題解決に貢献**している。

SDGs実施指針における実施原則 (アワード評価基準)

普遍性	官民連携を通して業界全体で持続的なトイレ市場創出を目指すとともに、共同アドボカシー活動などを通じて、途上国のトイレ市場の環境整備を実施。
包摂性	スラムや都市、農村などの多様な地理条件に応じたトイレを研究開発。トイレの提供でジェンダー平等の推進にも貢献。
参画型	現地に根差したソーシャルビジネスをモットーに、多様なステークホルダーとの協働のもと、途上国において雇用を創出。
統合性	ビジネス全体を通じて、女性のキャパシティビルディングを行うほか、女性や若者を雇用し、経済的自立をサポート。
透明性と説明責任	衛生課題解決に関する取組の評価を半年に一度実施し、統合報告書で公表。

特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS

<取組概要>

- 「エイズに影響を受ける子どもたちが未来を切り拓ける社会を実現する」というビジョンのもと、ウガンダ及びケニアにおいて、**エイズ孤児を抱えるHIV陽性のシングルマザー家庭を中心に、①生計向上支援、②ライフプランニング支援を現地パートナー団体とともに実施。**
- 農業や小規模ビジネスを開始するための初期投資や研修・経営支援及びキャリアスキル教育を通じ、**社会に取り残され脆弱な立場に置かれがちなエイズ孤児家庭の自立を支える活動を実施。**



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	生計向上とライフプランニング2つを組み合わせた活動は、他地域においても取り残された家庭や子どもの支援活動として活用可能。
包摂性	エイズ問題の中で取り残されがちなエイズ孤児への支援とともに、HIV陽性シングルマザーのエンパワーメントに取り組む。
参画型	行政や地域のボランティア組織、教育・医療機関と連携しながら事業立案・実施をしている。
統合性	乾燥地帯の広がる活動地域で果樹と在来種野菜の栽培を組み合わせた生計向上支援を実施。長期的には地域の緑化にも貢献。
透明性と説明責任	活動で目指すアウトカム・アウトプットを145の指標に落とし込み、定性評価と定量評価を事業毎に実施。

貢献する目標（SDGs）



<取組概要>



- 自動車リサイクルを通して、「持続可能な消費と生産」「すべての人々に働きがいのある人間らしい雇用」を促進するため、各国政府、現地企業家とのグローバル・パートナーシップを形成し、地球規模での資源循環型社会構築を目的に活動。
- ブラジル・インド・マレーシア・ケニアにおいて、**自動車リサイクル政策の立案サポート、現地リサイクル工場設立による環境に配慮した自動車リサイクルのバリューチェーン構築と現地雇用の創出**に取り組んでいる。
- 上記取組を通じ、使用済み自動車の処理が適切に行われないことによる**土壌汚染、廃プラスチック、タイヤ等の投棄・野焼きによる環境汚染の防止に貢献**。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	現地の技術・調達レベルに即した環境配慮型の自動車リサイクル工場・生産工程を提案，持続可能な経営管理ノウハウを提供している。
包摂性	「誰一人取り残さない」の理念に立ち，現地の貧困層や若者へ技術研修を行い，雇用の創出を実現。
参画型	現地の環境省・交通省などと連携するとともに，地方政府の担当官への自動車リサイクル研修を実施。
統合性	SDGs達成に必要な経済・社会・環境の三分野を有機的に連動させ，統合的解決の視点をもって事業を推進している。
透明性と説明責任	SDGsへの取組をSDGsレポートとしてホームページで公開。

貢献する目標（SDGs）





<取組概要>

- 創業398年の和菓子屋の熟練の菓子職人が離島の学校や山間部の障がい者支援学級、高齢者福祉施設などで菓子教室を実施。菓子作りを通じた相互交流による循環型の郷土文化の継承と創造サイクルを実践。
- 企業戦略としてのCSV（共有価値創造）戦略を推進。瀬戸内地方における希少性と多様性をもった地域リソースを活かした新たな市場開拓に挑戦している。

<選出のポイント>

- 長寿企業（創業398年）として、地域の伝統文化の継承や地方創生に貢献。

SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	高齢者や子どもが中心の中小企業でも取り組めるSDGs活動は、地方創生のロールモデルとなり得る。
包摂性	全員参加型の商品開発と技能継承の促進。
参画型	地元の小中学校、離島や山間部などの孤立地域など声がかかれば何処でも菓子教室を実施している。
統合性	企業ブランディングという事業的メリットと郷土文化育成という社会的メリットを同時に達成しうる。
透明性と説明責任	事業内容をウェブ上で公開している。

貢献する目標（SDGs）





貢献する目標 (SDGs)



<取組概要>

- **SDGs経営戦略を策定**し、経営計画そのものに自社の本業で実現可能なSDGsを実装。「**ゼロカーボンプリント**」に加えて2020年までに**ごみゼロ工場を達成する活動**を推進。
- パートを含む**全従業員を対象に社内ワークショップを実施**、各自の問題意識を全体共有した上で**SDGsとの関連付けを行い、課題を解決するプロジェクトチームを従業員主体で立ち上げSDGsを推進**。
- その他、障害者支援活動、RE100へ向けた取組、子ども向けのSDGs工場見学ツアー実施、SNSやHPを使った積極的なSDGsの取組の発信等。

<選出のポイント>

- 地域の中小企業が、全社員へのSDGs教育を実施し、ボトムアップ型でSDGs経営戦略を策定。

SDGs実施指針における実施原則(アワード評価基準)

普遍性	中小企業が「SDGs経営戦略」を策定し、経営に具体的な形で実装。国内外でのロールモデルとなりうる。
包摂性	性別・役職・正社員・パート等による区別のない「SDGs経営計画」プロジェクトチームへの参加を確保。
参画型	RE100への取組における行政、民間企業、市民との連携。障がい者施設との連携、子ども向けの工場見学等実施。
統合性	環境印刷及び地域との連携活動の中で、環境・経済・社会の統合的発展が図られている。
透明性と説明責任	各取組をCSR・SDGs報告会で発表。定期的な活動レポートの発行やSNSやHPを通じた積極的な発信を行っている。

<取組概要>

- **SDGs発信基地を地元岐阜市にオープンし、地方中小企業がSDGs達成に向けて積極的に取り組み、企業成長につながる先進的な事例を示している**ほか、同社自らがモデルとなり、全国にそのノウハウ提供と推進を図っている。
- 低所得者や外国人などマイホーム取得が困難な世帯のマイホーム建設を実現し、**貧困からの脱却や地域コミュニティの関係強化を支援**。
- 持続可能な企業成長を可能にするため、ステークホルダーの家族を含む**ダイバーシティ推進グループ**を組織し、**子連れ出勤やキッズスペースの設置、風土改革や休み方改善、社員の表彰制度の整備などを実施**した。

<選出のポイント>

- 地域の中小企業が女性活躍の促進やSDGsの普及啓発などに総合的かつ積極的に取り組む。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	SDGsの取組と企業成長が結びつく先進的な事例として、国内外の企業のロールモデルとなり得る。
包摂性	低所得者や外国人支援、女性活躍推進、働き方改革を従業員や家族、関係協力業者も含めて包摂的に取り組んでいる。
参画型	地域の発信拠点において地域住民を対象にワークショップを開催するなど教育機会の創出を図っている。
統合性	事業それぞれの取組が有機的に連動し、地域社会を巻き込みながら、SDGs達成に向けた取組を進めている。
透明性と説明責任	自社HPにSDGs特集ページを開設し、情報発信。

貢献する目標（SDGs）



<取組概要>

- 2017年11月に「**しがぎんSDGs宣言**」を表明。
- 地方銀行として初めて**SDGsに貢献する新規事業に対する融資商品の取り扱いを開始**。金利優遇によってビジネス創出を促進。
- ニュービジネス奨励金に「**SDGs賞**」を新設。**社会的課題解決を基点とするビジネスモデルを後押し**。
- SDGs私募債の取扱い。私募債発行企業に「SDGs賛同書」を提出してもらうことでSDGsを普及啓発。**私募債発行額の一部を銀行が拠出し、社会的課題解決を目指すNPO法人等への寄付、学校への物品寄贈等に活用**。

<選出のポイント>

- 地域金融の拠点として早くからSDGsを経営に取り組む。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	地域とともに歩む銀行として今後各地方金融機関におけるロールモデルとなり得る。
包摂性	金融サービスの提供を通じて地域のどの分野も取り残さないようビジネスのサポートを実施。
参画型	行政や企業も巻き込んだ取組を展開。
統合性	「地域経済」「地球環境」「多様性」をメインテーマに掲げ、それぞれが有機的に関連した取組を展開。
透明性と説明責任	「しがぎんSDGs宣言」を表明するとともに、SDGs関連サービスについてもプレスリリースを通じて公表している。

貢献する目標（SDGs）



<取組概要>

- ・ 瀬戸内海におけるプラスチックゴミやマイクロプラスチックなどの海洋汚染にいち早く着目し、地元漁師と協働して海ゴミの回収・分析を実践。回収の際には、メディアや近隣府県の中高生を招き、情報発信や学びの場としている。
- ・ 海ゴミ問題の解決に向けては、回収とあわせて、ゴミの発生量を減少させることを重視し、海ゴミの起源地である内陸部や沿岸地域において、海ゴミ問題の啓発活動を行っている。
- ・ 行政やNPO、地元メディアと協働することにより、地域に根差した継続的な取組となっている。

<選出のポイント>

- ・ 中高生が中心となり、地域のステークホルダーを巻き込み海洋ゴミ問題を啓発。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	島嶼部の漂着ごみ問題へのアプローチは同様の問題を抱える他の島嶼部でも応用可能。
包摂性	ごみ問題の直接的な影響を受ける人々のみではなく、日本中・世界中の問題として自覚した取組を実施。
参画型	NPO、メディア、行政、住民との協働による取組を実施。
統合性	プラスチック製品の使用禁止など、国内外へ向け積極的に情報発信している。
透明性と説明責任	メディアを通じた情報発信に加え、国内外での国際会議・学会での報告・情報共有に取り組んでいる。

貢献する目標（SDGs）





<取組概要>

- 生きた乳酸菌の摂取を目的とした商品（プロバイオティクス商品）である乳酸菌飲料の生産・販売を通じ、世界の人々の健康生活の実現に貢献。
- 「ヤクルトレディ」の宅配システムを中心とした就労機会の提供を通じ、収入増加による生活の安定、さらに子女等の教育機会の拡大に貢献。女性の就労や社会進出、能力向上、活躍を後押し。
- 地域に根ざした事業展開により、途上国等に対して、日本国内で培った安全・安心・高品質な商品の生産技術や省エネ技術、販売ノウハウ等を移転。地域密着で現地の雇用を創出。

<選出のポイント>

- 女性の社会進出と人々の健康意識の向上を図る。ヤクルトレディの宅配システムや健康で楽しい生活づくりのモデルを国内外に広げる。

SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	日本国内で培った地域密着の経営方法は、日本の海外進出の際の一つのビジネスモデルとなり得る。
包摂性	「世界の人々の健康生活に貢献」するため、「誰もが手に入れられる価格で」との考え方で、海外における市場の拡大と浸透に努めている。
参画型	脆弱な立場に置かれた人々がいる途上国を含め、「健康」のお届けを通じ、健康生活の実現や福祉の増進に努めている。
統合性	事業活動全体を通じて、健康への貢献、雇用の創出、女性の能力向上、省エネ等の社会や環境課題も含めた取組を実施。
透明性と説明責任	HPや会社概要、CSRレポート、決算発表等により情報公開を進めるとともに、CSR活動として見える化している。

貢献する目標（SDGs）





<取組概要>

- 江戸時代から12代続く、**全ての女性が健康である社会と健康な次世代の創出を目指し、時代に合わせた安心・安全な医療と健康増進サービス等を提供する**「女性の生涯にわたる専門病院」を目指す。
- 「生涯を通じた女性の健康支援」として**女性アスリートへのサポート**や、「女性の健康教育」として**プレコンセプションケア（妊娠前健康管理）の実践と啓発**など、産婦人科を主軸に健康な次世代の創出と**ライフサイクル全般に通じた女性包括支援を実施**。

<選出のポイント>

- 全ての女性が健康である社会づくりに、女性の生涯にわたる専門病院として貢献。

SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	ライフサイクル全般における女性への包括支援は国内外でロールモデルになり得る。
包摂性	障がいを持つ子どもへの支援基金との連携や、障がい者雇用の実施、性犯罪支援者ワンストップ窓口を通じ、包摂的な簿病院運営を行っている。
参画型	地元企業や大学、NPOと連携して女性健康セミナーなどを実施している。
統合性	健全な病院経営と外部機関との連携活動を通じ、社会、環境、経済に配慮した病院運営を行っている。
透明性と説明責任	患者を対象にアンケートをとり、毎月集計・評価し、結果のフィードバックを職員に実施している。

貢献する目標（SDGs）





<取組概要>

- **SDGsをテーマにした日本初の地上波レギュラー番組「フューチャーランナーズ~17の未来~」を放送。**
- テレビの強みである「発信力」と「クリエイティブな力」を活かして、**①SDGsの認知度を上げること、②SDGsを身近に感じてもらうこと、③パートナーシップを生むきっかけ作りを目的に、SDGsの課題解決に取り組む「ランナーたち」を分かりやすく映像で紹介している。**

<選出のポイント>

- メディアとして、SDGsをテーマにしたレギュラーミニ番組を制作・放送し、SDGsの普及に貢献。



SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	テレビを通じてSDGsを広めることは国際社会においても実施可能なロールモデルとなり得る。
包摂性	番組では、あらゆる立場に置かれた人に目を向け、視聴者へダイバーシティかつインクルーシブな社会を提示。
参画型	テレビでSDGsを発信することで、視聴者が持続可能な社会の実現に参画できるきっかけを提供している。
統合性	経済・社会・環境の三分野を番組という枠組みの中で統合的に視聴者へ伝えている。
透明性と説明責任	番組という性質上、当取組は全て放送を通じて公開されており、更に番組サイト・CSRのサイトでも公表している。